



布土小だより



平成28年度 第5号
6月 20日

布土小・四つの約束

江戸しぐさ

布土小学校長 竹内 弘実

「江戸しぐさ」をご存じですか。「江戸しぐさ」とは、江戸の商人のリーダーたちが築き上げた、上に立つ者の行動哲学」として普及したものです。

江戸の大商人たちが育んだ「江戸しぐさ」は、自然を大切に、円満な人間関係を育み、異文化と共生する知恵でもありました。江戸しぐさを身に付ければ、周りの人たちを幸せにし、笑顔が絶えない、しかも商売が繁盛するというものでした。京や大阪などの上方商人が、「勤勉」「始末」「世間に奉仕」をモットーとしたことと相通じます。

江戸時代は、「士農工商」という身分制度のもと、商人が一番下の身分でした。大商人は経済の実権を握ってはいるものの、建前にこだわる武士を相手に上手に立ち回らざるを得ませんでした。難癖を付けられれば、どのように処分されても仕方がない時代でした。そのような中で育っていった「江戸しぐさ」でしたが、それはやがて「単なる処世術」から「行動を伴った精神性の高い生活哲学」へと昇華していったのです。政治のリーダーである武士と経済の専門家として対等に接すると同時に、後継者の育成に力を注ぎました。

そんな江戸しぐさを、6月6日の朝会では、教務主任の松尾由美先生が紹介してくれました。

*傘かしげ……雨の日に互いの傘を外側に傾け、ぬれないようにすれ違うこと。

*肩引き……道を歩いていて人とすれ違うとき、左肩を路肩に寄せて歩くこと。

*拳浮かせ……乗合船などで、拳一つ分腰を浮かせて寄ることで、人が座れる席をつくること。「傘かしげ」など、すぐ実行できそうですね。ぜひ先人の知恵を生活に生かしてみましょう。

*救急法講習会 5月27日

プール開きに備えて、5月27日(金)日本赤十字愛知県支部指導員の青山さんと因田さんを講師としてお招きし、プール前の安全講習と心肺蘇生法・AEDの使い方について学びました。

心肺蘇生法では、4～5人一組で練習しました。今年は、子どもの人形も用意いただき、大人用4体と子ども用4体とを交互に使って何度も練習しました。倒れている人を見つけ、意識がない、呼吸をしていないと感じたら、すぐに心臓マッサージを30回、そして、人工呼吸を2回、これを繰り返します。心臓マッサージは、大人の場合は胸が5cm沈むぐらい押ししてもよいこと、子どもの場合は片手で行い、体の厚みの1/3が沈むぐらいを目安に押しましようとして教えていただきました。実際にはしませんでした。もっと小さい乳幼児の場合は、指2本で行うことも学びました。お話を聞いているだけでは忘れてしまうことも、何度も体験することによって体で覚えることができます。いざというときに役立てたいですね。PTAの方や青少年を守る会の方にも多数参加していただきました。長時間にわたり研修ありがとうございました。



<江戸しぐさの一つ>



<朝会でお話する
松尾由美先生>



<学校にあるAED>

* 芋の苗植え 5月25日

公民館活動運営委員会の方のご協力を得て、5月25日(水)には、1, 2年生とつつじ・さつき学級の児童がさつまいもの苗を植えました。天候は曇りで、この後雨になるという予報で、芋の苗の植え付けにはもってこいでした。いつも公民館活動の皆さんは、畑を耕し、畝をつくり、マルチシート張りまですべてにやったださり、その上で、子どもたちに芋の苗植えをさせていただきます。本当にありがとうございます。



* 大豆の種まき 6月2日

6月2日(木)に、3年生が、JA布土支店の坂本支店長さんやJA女性部の皆さんのお世話で、大豆の種まきをしました。今年は花壇に直接植えました。カラスや鳩に食べられないように、支柱を立ててビニールひもを張り巡らせました。今、だいぶ芽が出てきました。秋に収穫し、3学期には、またJA女性部の皆さんに教えてもらって、きな粉作りをする予定です。これから、大切に育てていきます。



* 部活の連絡黒板 6月~

陸上大会も終わり、いよいよ子どもたちが楽しみにしていた、サッカーやソフトボール、卓球やバスケットボール、そして金管の「部活動」が6月から本格的にスタートしました。その日にそれぞれの部活動が行われるかどうか、今までは職員室横の連絡黒板でお知らせしていましたが、今年は、昨年度「あおば子ども会」からいただいたご寄付で購入したホワイトボードを使って、昇降口ホールにも「部活の連絡黒板」を作って、子どもたちに知らせることにしました。学校に来たとき、外に出るときなど、すぐに確認できるので、子どもたちにも好評です。



* 野外教育活動 5月31・6月1日

5年生が、5月31日(火)~6月1日(水)の二日間、豊田市旭高原元気村へ野外教育活動に行ってきました。1日目も2日目もとてもよい天気恵まれました。三州足助屋敷では子牛が生まれていて、子どもたちも「可愛いね」と言いながら見学や体験をしました。また、学校で練習していった「飯盒炊さんによるカレー作り」も「キャンプファイヤー」も大変上手にできました。

子どもたちは行事で育ちます。「協力」を合い言葉に、5年生の児童にとっては、学びの多い二日間となりました。ここでの体験をこれからの学校生活に生かしましょう。

